

## 地域に恩返ししたい

「岩槻の形はどんなものに似ているか」というクイズの正解は「サナギ」なんだけじよ。「奴(やつこ)」がそもそもどんなもののか、説明が必要ですね」「岩槻まちづくり市民協議会(まち協)」の会員たちの活発な声で、区役所の会議室は熱気に溢れています。秋に開催の「和櫻区民やまぶきまつり」で実施するクイ



「日光の赤奴、甲府の白奴」ともい、日本三奴と称された岩槻の黒奴もかなり難しじよ。「奴(やつこ)」がそもそもどんなもののか、説明が必要ですね」「岩槻まちづくり市民協議会(まち協)」の会員たちの活発な声で、区役所の会議室は熱気に溢れています。秋に開催の「和櫻区民やまぶきまつり」で実施するクイ

その経験を通して強く感じたことは、もつと地域に根ざしたまちづくりに参加したい、そのためには自ら行動することが必要だ、ということでした。そこで、実践的な地域のまちづくり活動について学ぶた

め、埼玉県の「彩の国都市づくりアカデミー」に参加し、地域でのまちなみのルールづくりや緑化活動など、「まちづくりサポート」として活動をするようになります。

こつじて地元のまちづくりに関する造詣を深めていた加藤さんは、さらに実りの

ある活動を行いたいとの思いから、このアカデミーで出会った桑原博さん、萩原睦郎さん、久保田士朗さんへ声をかけ、平成19年6月のまち協の設立に至ったのです。

「地域に恩返ししたい」というわたしの

思いに賛同してくれるか、当初は正直なところ不安でしたが、皆同じ思いでいてくれたのか、声をかけると案外すんなりと集まってくれましたね。とてもうれしかった」加藤さんは、そういうて屈託のない笑顔を見せてくれました。

# III PEOPLE X PEOPLE

## 「山吹の里づくり」と岩槻のこれから

「初年度の活動により、2年目は会員の知力・体力もつきまして、自主企画事業を行うことになり、講師を招いてまちづくり講演会を開催しました。続いて「岩槻七福神めぐり」の創出、「岩槻学検定」のための基礎づくり、そして神社仏閣の銘木を訪ねる花遍路の企画を手掛けました。その中でも特に思い入れ深いのは、『山吹の里づくり活動』ですね」と話す加藤さん。

岩槻城を築城したといわれる室町時代の武将、太田道灌の「山吹の里伝説」にちなみ、旧岩槻市の市花としても馴染み深い、山吹の名所をつくろうとする「山吹の里づくり活動」。花遍路の企画の一環として、岩槻区のシンボルカラーである山吹の植栽について思いを巡らせていたところ、同じアイデアをもっていた「フチフォーラムいわつき」代表の

林久子さんより協力の依頼があつたそうです。このことから、より充実した活動を目指して「山吹の里づくり実行委員会」を発足させました。この活動は、まち協にとって他の市民グループとの協働により実現した初めての事業となり、それぞれのグループがもつ豊富なアイデアや経験が結集し、活動の幅が大きく広がりました。

岩槻南部公民館の敷地への植栽を皮切りに、岩槻駅に近い愛宕神社でも山吹の植栽が行われました。今後は、願生寺や久伊豆神社にもたくさんの山吹を植える計画です。やがては、岩槻のまちのいたるところで山吹が可憐に咲き誇り、「山吹の里」が実現する日もそう遠くないことでしょう。

加藤さんはこのように話します。「今回の山吹の里づくりを始め、岩槻には人形や歴史ある建造物など、魅力ある地域資源がたくさんあります。このような資源を活かしながら、人と人との触れ合いを大切にして活動することで、私たちもまたも、もっと元気になれると思うんです。住んでいる人が誇りに思い、また、訪れる人に安らぎを感じてもらえば、こんなにうれしいことはないです」

4人でスタートしたまち協も、意欲的な活動により、今では15人になりました。

会員たちは、明日のさらなる元気を目指して、今日も活動を続けています。

## 「山吹の里づくり」でまちを元気に 岩槻まちづくり市民協議会の歩み

かつて城下町や宿場町として栄えた岩槻には、さまざまな市民グループがまちを元気にしようと活動しています。今回のPEOPLE X PEOPLEでは、その中のひとつ「岩槻まちづくり市民協議会(まち協)」設立の立役者、加藤三郎さんの姿を通して、市民グループのまちづくり活動と、そこに息づくまちへの思いを辿ってみました。

まち協の特徴は、単独で活動することよりも、他の市民グループへの協力という形で、「ひな祭りふれあいコンサート」や「元荒川ウォーク」、「まちかど離めぐり」などの事業を行いました。このことで、まちづくり活動のノウハウや、他グループとの交流が図られ、その後の活動の礎となりました。

また、岩槻人形会館建設設計画への提言を始め、岩槻区「ミニユーティ課主催の「岩槻オリジナルティ創出実行委員会」や、まちづくり総務課主催の「まちづくりセミナー」へも参加するなど、行政との協働による活動を積極的に行いました。とりわけ「まちづくりセミナー」は、地域住民の視点からのまちづくりの手法を学ぶもので、参加した会員たちにとっては実り多きものになったようです。

協働を大切にすることにより大きな成果を挙げようとするこれらの活動は、長年営業畠で辣腕をふるい、また、会社組織のトップとして活躍してきた加藤さんらしい取り組みといえるのではないかでしょうか。そしてこの考え方は、このあと紹介する「山吹の里づくり活動」の中で生かされることになります。



岩槻南部公民館への植栽が「山吹の里」づくりへの第一歩

### 岩槻まちづくり市民協議会

平成19年6月「にぎわいと魅力あるまちづくり」の実現を目的に設立。岩槻のまちづくりに関心がある方はだれでも入会可能。詳しくは事務局桑原(☎048-798-1791)まで。

### 山吹の里づくり実行委員会

岩槻に山吹の名所をつくろうと結成された団体。会員数は現在23名で、随時募集中。詳しくは事務局久保田(☎048-757-5044)まで。

## 協働によるまちづくり活動